



FUTURE CENTER NEWS

フューチャーセンター通信 2015.02.13 vol.16
2015年3月1日発行号

ぎふフューチャーセンターは、大学、地域、自治体がともに地域の課題を探り、未来に向かって新しい価値をつくる対話の場で、岐阜大学の地(知)の拠点整備事業の取り組みの一つです。今年度の第12回は、郡上市と開催し、学生、大学教職員、郡上市職員、地域の皆さんの46名が防災について対話をしました。

Check!



防災への取り組みを探る

災害に対する備えを振り返り、今後の取り組みを探る

2月13日(金)に郡上市総合文化センターの2階多目的ホールにて、「災害から身を守るためには」をテーマに、ぎふフューチャーセンターを開催しました。

冒頭で、高木朗義教授(岐阜大学工学部・地域協学センター副センター長)より、「自分は災害にどれだけ備えられているか」というテーマで、地震や風水害などの災害に対し、自分の身は自分で守る、みんなの地域はみんなで守ることが大切であるといった内容の講義があり、参加者が防災に関する事前知識や意識を共有し、対話に臨むことができました。

引き続き高木教授の進行により、「災害に備えるにはどんな方法が良いか」「地域、または自分たちがやらなくてはいけないこと」をテーマに、学生(岐阜大学学生保安消防隊、防災に関心のある工学部生、留学生など)、防災士を含む地域の方々、郡上市の防災担当やまちづくり担当の職員などが、グループに分かれて対話に参加しました。今回の対話では「個人の防災意識をまず高める」「正しい防災知識を共有する」「地域で取り組むことを進める」など、多様な立場から様々な意見やアイデアが出されました。

最後にグループ発表を行い、各グループの意見やアイデアを共有した後、参加者個人がいつまでに、何を、どのように防災に取り組むかを考える「やること宣言」シートを作成しました。各個人の防災意識を高めるだけでなく、次につなげる行動を確認するもので、有意義な取り組みとなりました。

今回のフューチャーセンターは、郡上市の総合計画策定における「第3回郡上みらい会議」としても開催され、今後の郡上市の施策を考える上で、今回の対話から出された意見やアイデアが活用されることが期待されます。

各グループからの意見・アイデア(一例)

- 自助 ●自分が住んでいる近くの危険な場所を知る。●防災訓練に参加する。●防災グッズを用意する。
- 共助 ●日頃からご近所づきあいをする。●自治組織で防災について話し合う。
- 公助 ●AED・消火器等を公共の施設に設置する。●砂防ダムや擁壁の設置、避難施設の改良をする。



岐阜大学

CCSC

地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community



FUTURE CENTER NEWS

フューチャーセンター通信

Center for Collaborative Study with Community

災害に備えているかを確認! 自助・共助チェックシート

災害に備えるといっても、何をどのように、どの程度備えるか分からない場合があります。自助・共助チェックシートを活用することで、自分自身や地域が地震、風水害に何を備えるべきかを確認することができ、既に備えていること、備えていないことが分かります。チェックシートの中には「自宅をよく過ごす場所の家具は固定されている」「水平避難、垂直避難、待避の違いを理解し、状況に応じた避難行動を取ろうとしている」という自助の項目、「避難所は、自主防災組織または地域住民だけで開設できる」「地域住民の自助を促進する取り組みをしている」という共助の項目があり、防災への取り組みを確認することができます。



平成16年台風23号による被災



平成26年大雨による土砂崩れ

写真/郡上市提供



自助・共助チェックシート
高木朗義教授作成



岐阜大学大学院教育学研究科 2年
(岐阜大学学生保安消防隊長)
荒木 雅 さん

若い世代にも防災に取り組んでほしい

様々な立場の方が参加した対話により、自分自身が持っていない視点からの意見を聞くことができました。人それぞれ異なる視点で防災を考えることの大切さを感じました。僕ら若年層が防災にもう少し目を向けていく必要があると思うので、同じ世代に訴えかけられるような防災に取り組む大切さを啓発するイベントを企画していきたいと思っています。



防災士
岩尾 誠 さん

防災士として得た知識を地域で活かす

参加された皆さんが、防災について楽しく和やかに話をされており、有意義な時間に感じました。防災について学んだことを伝えさせていたいただきましたが、学生さんから「勉強になった」という感想を聞き、良かったと思います。防災士として得られた知識や経験を、地域へ還元していきたいと考えております。



郡上市職員
建設部 都市住宅課
福手 雅紀 さん

様々な意見をまちづくりの参考に

防災に関する知識を深め、他の方の意見を聞きたいと思い参加しました。参加者の様々な意見が聞けたことにより、勉強になりました。今後も防災の知識と経験を深め、災害時の対応に活かしていけたらと思います。また、職場でもまちづくりの業務に携わっておりますので、今回の研修で得られたことを活かしていきたいです。